

静岡けやきLC花壇手入れに汗

静岡てんかん・神経医療センター

福祉事業所利用者招く



花壇に苗を植える参加者

＝静岡市葵区の静岡てんかん・神経医療センター

静岡けやきライオンズクラブ(石川幸伸会長)は16日、就労継続支援B型事務所「ラポール・ファーム」(同市駿河区)の利用者を招き、花壇の手入れを同市葵区の静岡てんかん・神経医療センターで実施した。関係者ら約30人が参加し、パンジーやジンチョウゲ、スイセンなど春に咲く10種類ほどの花苗300株を植えた。雑草を抜いたり、オリーブの木の枝を剪定(せんてい)したりして花壇周りを整えた。

花や土に触れ、楽しみながら人の役に立つ喜びを感じてもらおうと実施した。花壇の手入れは春と秋の年2回、継続的に行い、今年で10年目。整備活動の継続で、色鮮やかで香りの良い花が育ち、利用者の心の安らぎになっているという。石川会長は「花を見て、施設を利用する人が少しでも前向きな気持ちになってくれれば」と願った。